

# 特集・おーバスの これからを考えよう



『Bloom!』にはこれまで、読者の皆さまから、おーバスについてさまざまなコメントが寄せられています。そこで今号では、**編集部が市役所に突撃取材**。「そこんとどうなの?」と、皆さまの代わりにズバッとヒアリングしてきました。その回答をまとめたのが本特集。**熱量余って文字多め**。では早速、市役所の回答をご紹介します。**編集部による採点(ハンコ)付き**です!

Bloom!

2つの路線で同じ区間を並走しているものがありますが、ほとんど発車時刻が同じでもったいないなと思っています。(10代男性)

## 市からの回答「改善します!」

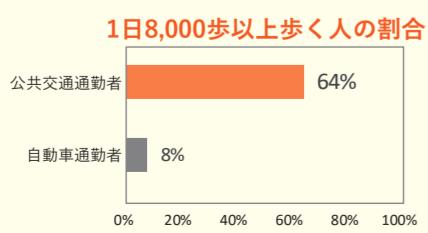
気づいた端から直しますとの、前向きな回答!  
「そこに気付かれるとは、相当のおーバス通では!?」  
大谷中央線と土塔平成通線のダイヤ重複に関しては、10月に改正しようと準備中です。他にも間々田線と新市民病院線も並走していますが、通院されるお客さまが小山駅で乗り継ぎをしていただくために、あえて同時刻にしていますとのこと。いろいろ考えているんですね。



今のところ健康で車を運転できるのでおーバスの必要性を感じませんが、免許返納の際には利用したいと思っています。(60代男性)

## 市からの回答「将来への投資に、今からバス利用を!!」

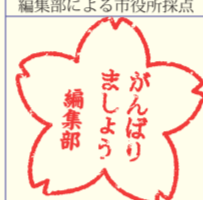
編集部からも、ありがとうございます。ぜひご検討ください。  
ところで、普段から自家用車の人は、公共交通利用者比べて歩行量が少ないというデータがあるそうです。ドア to ドアの生活に慣れてしまっていると「免許返納時には足腰が弱り、歩くのが大変になってバスに乗れない...そんなケースが結構あります」とのこと!! 健康の指標である1日8,000歩を念頭に、今からなるべく歩く生活を心がけ、免許返納後も元気にお出かけできる身体づくりはいかがでしょう。か。「バス停まで少し歩き、目的地までも少し歩く」  
おーバスのご利用も、きっと皆さまの健康増進の一助になると思います。最後はしっかり宣伝でした。



バスの発着時刻を電車のダイヤに合わせてほしいです。電車の到着と同時にバスが発出することが多くて「あー...!!」となります。(10代女性)

## 市からの回答「さらに編成を工夫します」

同様のご意見、たくさん届いているとか。「新市民病院線については、この春にダイヤ改正し、できる限り新幹線や宇都宮線(特に快速)に合わせて編成しました。実は他路線に関してもかねてから、電車との乗り継ぎを検討してきたとのこと。ですが、「在来線に合わせて新幹線の、新幹線に合わせて在来線の時刻に合わない、快速、宇都宮行き、水戸線、両毛線とすべてに合わせることはできない、他のバス路線との乗り継ぎも考慮しなくては...あー...!!」といった状態で、すべてのご要望を叶えることができないんですね。今後の工夫に期待しましょう。

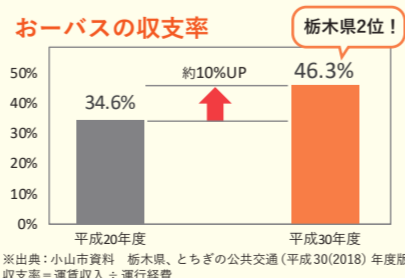


おーバスは本数が少なすぎて、使いたくても使えません。(40代女性)

朝、通勤で乗車しても帰りのバスがなく、妻に自動車で迎えに来てもらっています。夜の便もあると便利なのですが。(40代男性)

## 市からの回答「皆さまのご利用が、おーバスを便利にします」

おかげさまでおーバスの利用者および収支率は増加傾向のため、その分、増便が進んでいる模様です。例えば「2017年の実績としては、平日1日あたり大谷中央線は16便から24便に、土塔平成通り線を20便から28便に、間々田東西線を31便から35便に、市民病院線を19便から28便に、間々田東西線を31便から35便に、市民病院線を19便から20便に増便。今年度には初の夜の便が実現し、新市民病院線が22:10まで(平日)、ハーヴェストウォーク線が22:30まで初夜を始めました。おーバスは、皆さまに日頃からたくさん利用していただくことで運賃収入が増え、収支率を下げずに、さらに多くを走らせることができる仕組み。10年前は30%前半だった収支率が近年では45%を超え、栃木県内のバスでなんと2位の成績に(!!)「成果を結果につなげるバスとして、今後も利用者が多い便から、順次増便していきます。さあ、読者の皆さまが証人です。」



おーバスは高齢の方々が乗るものだと思っていたのですが、『Bloom!』を見てイメージが変わりました。今度お出かけで使ってみたいと思います!(20代女性)

## 市からの回答「うれしいです!ぜひ!」

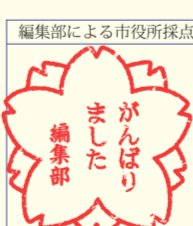
おっしゃるようおーバスには、高齢の方のみならず、通勤、通学で使う若い人たちも意外と、結構、それなりに多いんです。「休日のお出かけにも、とっても便利!ショッピングセンターや道の駅、いちごの里、公園、駅周辺などへ、ぜひ気軽にバスでお出かけください!」と、前のめりな回答でした。おーバスなら飲んでもOKなのも、飲んべえには朗報ですね。



家の近くにバス路線がありません。市民平等に扱ってほしいと思います。(70代男性)

## 市からの回答「デマンドバスが、お役に立ちます」

8年前のおーバスをご存知でしょうか。今より市内全域をくまなく循環していました。「しかし『空気を運んでいる』などと言われる状態、路線を見直さざるをえませんでした。そこで、皆さまがバスに乗りたいたいに、そのご要望にぴったり寄り添おうという発想で、路線がない地域を対象に運行開始したのが「デマンドバス」なんです。そうだったんですね。ちなみに「デマンド」とは「ご要望」という意味。このデマンドバス、お電話1つでご自宅までお迎えし上がり、エリア内の主要施設や、路線バスのバス停までお送りしています(P4~5参照)。「まず小山市役所新交通・コミュニティバス推進係(0285-22-9293)にお電話いただき、ご利用登録を。お手続きはかんたん、お名前・住所・電話番号・生年月日をお伝えいただけます。」



最近小山に引っ越してきました。クルマ1台なので、夫がクルマの時はおーバス利用です。夫婦で飲みに行くときには2人でバス利用です。小山では車が必須と思っていましたが、意外となんとかなりますね。(30代女性)

## 市からの回答「脱・クルマの未来を感じます」

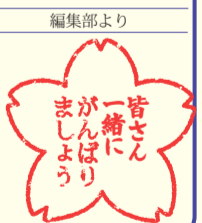
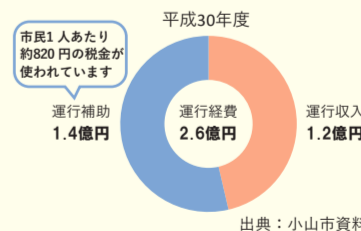
クルマとおーバス、適材適所でスマートなお暮らしの様子...え?なんですって?「小山市では現在、1世帯当たりクルマが1.5台。1家に1台から、1人1台へとまだまだクルマが増えていきます。でもクルマの維持費は意外とバカにならないです。クルマ自体の費用を含めると、軽自動車でも年間45万円、1日当たり1,232円もかかっているとの試算もあるとのこと!! 脱・1人1台。クルマに頼りすぎないおーバスの適切な利用は、経済的にもスマートなのかもしれませんね。」



買い物に便利に利用しています。主人は免許を返納したので、医者に行く時に乗っています。なくなってしまうと、とても困ります。(70代女性)

## 市からの回答「おーバスのある未来を、皆さまと創っていきます」

同様の切実な声、たくさんいただきました。「誰もがいずれば公共交通頼みになるという意味でも、おーバスはすべての市民の皆さまに関わる交通機関であると、私たちは考えています。幸い運行開始以来、乗客数は増加傾向とのこと。とはいえ現在でも運賃収入では運行経費に足らず、不足分を税金で補助している状況とが...。『おーバスの運行には現在、お客さまからいただく運賃と、市民1人あたり約820円の税金が必要です(平成30年度調べ)。ですが運賃収入が増えれば、公共交通機関としての自立性が高まり、より便利にしていけます。皆さまにもっとおーバスをご利用いただけるよう、そして便利さと収益とを両立させるよう、これからも努力していきます。私たちの足を、私たちが育てていきたいですね。」



Thank you for reading!!  
Bloom!